

## <領域：医療的ケア>

### 医療的ケア

問題 59 次の記述のうち、かくたんきゅういんとう喀痰吸引等を実施する訪問介護事業所として登録するときに、事業所が行うべき事項として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 登録研修機関になる。
- 2 医師が設置する安全委員会に参加する。
- 3 かくたんきゅういんとうけいかくしよ喀痰吸引等計画書の作成を看護師に依頼する。
- 4 介護支援専門員(ケアマネジャー)の文書による指示を受ける。
- 5 医療関係者との連携体制を確保する。

問題 60 次のうち、呼吸器官の部位の説明に関する記述として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 びくう鼻腔は、上葉・中葉・下葉に分かれている。
- 2 咽頭は、左右に分岐している。
- 3 喉頭は、食べ物の通り道である。
- 4 気管は、空気の通り道である。
- 5 肺は、ふくこうない腹腔内にある。

問題 61 次のうち、痰<sup>たん</sup>の吸引の準備に関する記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 吸引器は、陰圧になることを確認する。
- 2 吸引びんは、滅菌したものを用意する。
- 3 吸引チューブのサイズは、痰<sup>たん</sup>の量に応じたものにする。
- 4 洗浄水は、決められた消毒薬を入れておく。
- 5 清浄綿は、次亜塩素酸ナトリウムに浸しておく。

問題 62 次のうち、経管栄養で起こるトラブルに関する記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 チューブの誤挿入は、下痢<sup>たん</sup>を起こす可能性がある。
- 2 注入速度が速いときは、嘔吐<sup>おうと</sup>を起こす可能性がある。
- 3 注入物の温度の調整不良は、脱水を起こす可能性がある。
- 4 注入物の濃度の間違いは、感染を起こす可能性がある。
- 5 注入中の姿勢の不良は、便秘を起こす可能性がある。

問題 63 Eさん(75歳, 女性)は, 介護老人福祉施設に入所している。脳梗塞(cerebral infarction)の後遺症があり, 介護福祉士が胃ろうによる経管栄養を行っている。

ある日, 半座位で栄養剤の注入を開始し, 半分程度を順調に注入したところで, 体調に変わりがないかを聞くと, 「少しお腹が張ってきたような気がする」とEさんは答えた。意識レベルや顔色に変化はなく, 腹痛や嘔気おうきはない。

次のうち, 介護福祉士が看護職員に相談する前に行う対応として, 最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 嘔吐おうとしていないので, そのまま様子を見る。
- 2 仰臥位ぎょうがい はいがい(背臥位)にする。
- 3 腹部が圧迫されていないかを確認する。
- 4 注入速度を速める。
- 5 栄養剤の注入を終了する。